

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	湘南医療大学
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
保健医療学部	看護学科	夜・通信	—	—	20	20	13	—
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	夜・通信			20	20	13	—
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	夜・通信			22	22	13	—
薬学部	医療薬学科	夜・通信	—	—	25	25	19	—
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学 Web サイト（下記 URL 参照）にて公表 [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 無し

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	湘南医療大学
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表 [URL] https://www.fureai-g.ac.jp/html/idea/#04
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	協会 名誉会長	2025. 6. 25 ～ 2029. 6 月の 定時評議員 会まで	組織運営体制へのチ ェック機能
非常勤	税理士事務所 所長	2025. 6. 25 ～ 2029. 6 月の 定時評議員 会まで	組織運営体制へのチ ェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	湘南医療大学
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年、シラバスは12月頃に制作を開始し、翌年3月頃完成した冊子を学生・教職員に配布。また、完成に合わせ、同内容をホームページにも公表している。シラバスの内容は、授業科目ごとに科目区分、授業科目名、講義形態、単位数(時間数)、配当年次、担当教員、授業概要、到達目標、講義日程、単元、単元の講義内容及び事前学習・事後学習、評価方法と割合、テキスト、留意事項を明示している。	
授業計画書の公表方法	本学Webサイト(以下URL参照)にて公表 [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 保健医療学部は、講義科目については、科目ごとに出席状況を把握し、試験、レポート、実技試験、プレゼンテーション等評価項目を設けて評価し単位認定している。また、実技科目については両学科ともに出席状況、実習記録、学修態度等を実習評価表に基づき適正に評価し、看護学科は看護過程を中心に、リハビリテーション学科は事後演習の準備資料や発表も評価に加味し単位認定している。 薬学部は、講義科目については、出席状況を把握し、試験および課題等の評価項目を設けて評価する。実習科目については、実習試験、レポートに加えて、ルーブリック評価表を用いて評価する。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 湘南医療大学学則第31条の成績評価に基づき、湘南医療大学保健医療学部授業科目履修規程第9条第2項及び湘南医療大学薬学部授業科目履修規程第9条第2項に定められた客観的な成績評価・基準、評価及び評点、GPを定め学生便覧にて公表している。併せて、当該規程はホームページに公開している。なお、GPAは以下により算出している。 GPAの算出方法 $GPA = \frac{Sの単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1 + Dの単位数 \times 0 + Oの単位数 \times 0}{GPA対象科目の総履修登録単位数(S \sim Oの総単位数)}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	本学Webサイト(以下URL参照)にて公表 [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ディプロマポリシーを学生便覧に記載し、全学生に配布。ホームページにて公表している。また、湘南医療大学学則第 27 条に卒業に必要な単位数を定め、第 45 条に卒業認定要件について記載している。卒業認定については教授会にて適切に実施し、学位を授与している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表 [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/02/04/ [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/02/04/diploma.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	湘南医療大学
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
収支計算書又は損益計算書	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
財産目録	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
事業報告書	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
監事による監査報告(書)	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 対象年度:)
公表方法:
中長期計画(名称: 湘南ふれあい学園中長期計画 対象年度: 2023年度～2027年度)
公表方法: 学校法人 Web サイト(以下 URL 参照)にて公表 [URL] https://www.fureai-g.ac.jp/html/idea/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学 Web サイト(以下 URL 参照)にて公表 [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/04/02/#disclosure01-01
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学 Web サイト(以下 URL 参照)にて公表 [URL] https://sums.ac.jp/html/topics/2204/220420-01.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表） [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/02/04/
（概要） 生命の尊厳を基に、科学的及び文化的専門知識・技術を身につけ、保健・医療・福祉・教育を総合的な視野で捉えられる看護師・保健師および理学療法士・作業療法士を養成し、地域社会はもとより、国際社会の発展に貢献できる人間を養成することを目的とする
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表） [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/02/04/
（概要） 1. 看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身につけ、実践することができる。 2. 科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。 3. 相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。 4. 保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連携し、人々の健康に寄与することができる。 5. 幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会に貢献することができる。 6. 卒業後も自己研鑽に努め、生涯にわたり自らの専門領域を実践し続けることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表） [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/02/03/
（概要） [看護学科] 1) カリキュラムの編成は、本学の理念を基盤とし、科目区分を『総合教育科目』『専門基礎科目』『専門科目』とする。 2) 『総合教育科目』は「コミュニケーション」「文化」「健康」「情報」「環境」「尊厳」で構成する。科目の目的によっては、リハビリテーション学科と合同で実施する。 3) 『専門基礎科目』は「人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復」「健康支援と社会保障制度」で構成する。 4) 看護の『専門科目』は、「看護の基盤」「健康状態に応じた看護」「社会の変化と看護の統合」で構成し、『総合教育科目』『専門基礎科目』と有機的に連携を保つ。 5) 『総合教育科目』をはじめ多くの科目を通じ、【人間の命と個を尊重できる力】とともに、リハビリテーション学科と合同で【チームで連携し協働する力】を育む。 6) 「看護基礎ゼミ」や「コミュニケーション論」等の初年次教育科目によって、スタディスキル・アカデミックスキルを獲得させ、さらに看護師として必要な【援助的コミュニケーション力】の基礎を育成する。 7) 『専門基礎科目』と『専門科目』の進度を有機的に連携させ、早期から『専門科目』を学べるよう配置する。対象者の健康状態を把握する重要な科目は Basic と Advance にわけ、繰り返し学んだり、看護行為の根拠を探究し【エビデンスに基づく実践力】の基礎を育成する。 8) 臨地実習では、ふれあいグループの特徴を活用し、一か所で複数の実習を実施できる利点を生かし、環境変化に伴う学生のストレスを軽減するとともに、目の前の実習課題のみならず広い視野で人間の【安全を保障する力】を養う。 9) 看護の発展を思考する「社会の変化と看護の統合」科目や、高学年次に開講される『総合教育科目』によって、【看護の発展に対応する力】を育成する。

〔リハビリテーション学科〕 1) 「大学教育理念の醸成と倫理的感性の涵養」を目的とした科目を基盤におく。 2) 「人や社会に関することを学び、学際的思考を身につける」科目をおく。 3) 「理学療法学・作業療法学と医学の基礎を学ぶ」科目をおく。 4) 「理学療法学・作業療法学の専門的な知識・技術を養う」科目をおく。 5) 「理学療法学・作業療法学の実践力・応用力を養う」科目をおく。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表） 〔URL〕 https://sums.ac.jp/html/disclosure/02/02/#disclosure01-01
（概要） 〔看護学科〕 1) 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。 2) 人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。 3) 保健・看護に対する意欲や関心が高く、この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。 4) 入学後も生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある幅広い人間性、協調性と柔軟性を持ち、周囲の人々と良好な関係を保つことができる。 5) 自分の行動や考えに責任を持つことができる。 〔リハビリテーション学科〕 リハビリテーション学科の DP にもとづき、本学科では以下に示すような学生を求める。 1) 修学に必要な基礎学力を有し、専門知識と技術の習得に意欲がある。 2) 他者への思いやりと敬意を備え、社会に貢献したいという意欲がある。 3) 主体的・継続的に学修を続け、新しい知識の習得に意欲がある。 4) 自らの行動や考えに責任を持ち、物事に真摯に取り組める。

学部等名 薬学部
教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表） 〔URL〕 https://sums.ac.jp/pdf/disclosure/01-01_purpose-undergraduate.pdf
（概要） 医療人としての責任感、使命感、倫理観及び薬学の専門知識・技術を身につけ、患者や治療方法の多様なニーズに対応し、多職種協働によるチーム医療に積極的に参画できる薬剤師を養成し、地域社会はもとより、国際社会の発展に貢献できる人間を養成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表） 〔URL〕 https://sums.ac.jp/html/disclosure/02/04/diploma.html
（概要） 1. 社会的責任感と使命感、倫理観を有し、国際社会の発展に貢献できる。 2. 専門的な知識・技術を発揮することができる。 3. 地域の健康についての知識・教養を身につけている。 4. 主体的に考え、他者と協調して行動し、発信することができる。 5. 生涯にわたり自主的に学び続けることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表） 〔URL〕 https://sums.ac.jp/html/disclosure/02/03/pharmacy.html
（概要） 1. 「社会的責任感と使命感、倫理観を有し、国際社会の発展に貢献できる」の修得のための科目を基盤におく。 2. 「専門的な知識・技術を発揮することができる」を修得するための科目をおく。 3. 「地域の健康についての知識・教養を身につけている」の修得のための科目をおく。 4. 「主体的に考え、他者と協調して行動し、発信することができる」を修得するための科目をおく。 5. 「生涯にわたり自主的に学び続けることができる」を修得するための科目をおく。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表） [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/02/02/#disclosure01-01
（概要） 1. 高等学校の教育内容を幅広く学修している。 2. 薬学の知識技術を修得するために必要な基礎学力を有する人。 3. 基礎学力を応用する力やものごとを理論的に思考する力を有する人。 4. 地域社会の諸問題（健康、医療、福祉等で抱える問題）や薬学への深い関心・興味を持ち、それらについて自らの考えを表現する力を有する人。 5. 豊かな人間性、高い倫理観を持ち、自主的に社会貢献できる人。 6. 多様性を尊重し、意見の異なる人々と協調し、コミュニケーション能力を高めたいと望む人。 7. 主体的に課題を発見し、問題解決に向けて意欲的に行動できる人。 8. 自己管理能力に優れた人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表 [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/01/01/
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
保健医療学部	－	24 人	13 人	15 人	11 人	1 人	64 人
薬学部	－	20 人	8 人	9 人	3 人	0 人	40 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		118 人					119 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学 Web サイト(以下 URL 参照)にて公表 https://sums.ac.jp/html/about/greeting.html https://sums.ac.jp/html/department/nursing/teacher.html https://sums.ac.jp/html/department/pt/teacher.html https://sums.ac.jp/html/department/ot/teacher.html https://sums.ac.jp/html/department/pharmacy/ https://sums.ac.jp/html/research/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生 数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健医療学部	220 人	249 人	113.2%	880 人	903 人	102.6%	0 人	0 人
薬学部	130 人	49 人	37.7%	650 人	265 人	40.8%	0 人	0 人
合計	350 人	298 人	85.1%	1,530 人	1,168 人	76.3%	0 人	0 人
(備考) 薬学部は5年次生まで在籍中(2021年度開学)のため、収容定員も5学年分の合計人数。								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健医療学部	149 人 (100%)	3 人 (2.0%)	139 人 (93.3%)	7 人 (4.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	149 人 (100%)	3 人 (2.0%)	139 人 (93.3%)	7 人 (4.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 本学 Web サイト (以下 URL 参照) にて公表 [URL] https://sums.ac.jp/examinee-support/career-support/#syusyoku				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 毎年、シラバスは12月頃に制作を開始し、翌年3月頃完成した冊子を学生・教職員に配布。また、完成に合わせ、同内容をホームページにも公表している。シラバスの内容は、授業科目ごとに科目区分、授業科目名、講義形態、単位数(時間数)、配当年次、担当教員、授業概要、到達目標、講義日程、単元、単元の講義内容及び事前学習・事後学習、評価方法と割合、テキスト、留意事項を明示している。 保健医療学部は、講義科目については、科目ごとに出席状況を把握し、試験、レポート、実技試験、プレゼンテーション等評価項目を設けて評価し単位認定している。また、実技科目については両学科ともに出席状況、実習記録、学修態度等を実習評価表に基づき適正に評価し、看護学科は看護過程を中心に、リハビリテーション学科は事後演習の準備資料や発表も評価に加味し単位認定している。 薬学部は、講義科目については、出席状況を把握し、試験および課題等の評価項目を設けて評価する。実習科目については、実習試験、レポートに加えて、ループリック評価表を用いて評価する。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 湘南医療大学学則第31条の成績評価に基づき、湘南医療大学保健医療学部授業科目履修規程第9条第2項及び湘南医療大学薬学部授業科目履修規程第9条第2項に定められた客観的な成績評価・基準、評価及び評点、GPを定め学生便覧にて公表している。併せて、当該規程はホームページに公表している。ディプロマポリシーを学生便覧に記載し、全学生に配布。ホームページにて公開している。また、湘南医療大学学則第27条に卒業に必要な単位数を定め、第45条に卒業認定要件について記載している。卒業認定については教授会にて適切に実施し、学位を授与している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健医療学部	看護学科	126 単位	○・無	50 単位
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	127 単位	○・無	50 単位
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	127 単位	○・無	50 単位
薬学部	医療薬学科	195 単位	○・無	46 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：本学 Web サイト (以下 URL 参照) にて公表 [URL] https://sums.ac.jp/html/disclosure/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表
[URL]https://sums.ac.jp/html/campus_life/establishment/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
保健医療学部	看護学科	980,000 円	330,000 円	400,000～650,000 円	実験実習費、施設整備費
	リハビリテーション学科	980,000 円	330,000 円	450,000～700,000 円	実験実習費、施設整備費
薬学部	医療薬学科	1,450,000 円	330,000 円	500,000 円	施設整備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 入学時に学部全体のガイダンス、学科専攻別のガイダンスを行い、チューターが修学から学生生活全般の支援を行っている。また、授業内容等に係る支援として、全教員がオフィスアワーを設定し、学生の質問等に対応している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 本学は、卒業後の進路が医療専門職となるため、就職支援の他、国家試験対策にも力を入れている。 保健医療学部は、国家試験対策を1年次より実施し、早期に自学自修の姿勢と国家試験受験に対する意識付けを行っている。また、毎年就職に関するガイダンスを実施し、3・4年次には、関連病院の紹介や入職支援などを実施し、進路（就職）支援を実施している。 薬学部は、1年次に早期臨床体験実習を通し、臨床薬剤師という職業理解を深め、また、医療と薬学にかかわるキャリアについて、病院・薬局・製薬会社・製薬卸などを体験することでキャリア形成を促進させる。5年次に入る前には薬学共用試験を経て、実習に出るなど臨床と密接につながりを持ち、将来像をきちんととらえられるよう支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 毎年4月に健康診断を実施している。関連施設と連携し、健康診断で再検査対象者に対しては、速やかに検査を促す指導を行っている。また、臨床実習実施にあたり、該当学年になるまでに抗体値を高める指導を行っている。心理的な面については必要に応じスクールカウンセラーとの面談を実施し、チューターと連携して、学生のメンタルサポートを行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学 Web サイト（以下 URL 参照）にて公表
[URL]<https://sums.ac.jp/html/disclosure/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F114310104883
学校名 (〇〇大学 等)	湘南医療大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人湘南ふれあい学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		112人（－）人	104人（－）人	114人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	52人	53人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅱ区分	35人	35人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅲ区分	－	－	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（）人
合計（年間）				114人（－）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。